

9

文の組み立て(1)

氏名

クラス

番号

得点

100

1 正しく文節に分けられているものをそれぞれ一つずつ選び、記号で答えなさい。(3点×3)

①	ア	そよ風が／顔に／当たって／心地よい。
	イ	そよ風が／顔に／当たって／心地／よい。
	ウ	そよ／風が／顔に／当たって／心地よい。
	エ	そよ／風が／顔に／当たって／心地／よい。
②	ア	彼に／言っておく／ことがある。
	イ	彼に／言っておく／ことがある。
	ウ	彼に／言っておく／ことがある。
	エ	彼に／言っておく／ことがある。
③	ア	親友とは／助け合う／ものだろう。
	イ	親友とは／助け合う／もの／だろう。
	ウ	親友とは／助け／合う／もの／だろう。
	エ	親友とは／助け／合う／もの／だろう。

2 次の各文の、I…文節の数と、II…単語の数を、それぞれ算用数字で書きなさい。(2点×8)

③	①
I	I
3	4
II	II
7	7
④	②
I	I
5	4
II	II
8	5

- ① 姉は早朝のバスで出発する。
- ② 緩やかなカーブがずっと続く。
- ③ 岩が重くて持ち上がらなかった。
- ④ 枝を切れば日当たりがよくなる。

3 次の——線部の述語に対する主語を抜き出さない。ただし、主語が省略されている場合は△を書きなさい。(3点×3)

①	わたしは
②	僕は
③	△

- ① 弟が泣いたことにわたしは驚いた。
- ② 僕は母が編んだセーターを着た。
- ③ 彼女に辞書を貸してほしいと言われた。

4 次の各文の、I…主語と、II…述語を、それぞれ抜き出さない。(3点×10)

①	I	彼女こそ	II	ふさわしい
②	I	卵は	II	貴重品だった
③	I	だれも	II	いなかった
④	I	父まで	II	反対する
⑤	I	僕だって	II	できる

5 次の——線部が修飾している文節を抜き出さない。(4点×5)

①	降ったら	②	あきらめたと
③	進むと	④	届く
⑤	あった		

- ① もし雨が降ったら、試合は延期になる。
- ② 彼はとっくにあきらめたと思っていた。
- ③ 手探りで暗やみを進むと、ドアがあった。
- ④ 五年ぶりに大阪おおさかに転校した友人から手紙が届く。
- ⑤ 博物館には珍しくて貴重な資料がたくさんあった。

6 次の——線部が連体修飾語ならA、連用修飾語ならBと記号で答えなさい。(4点×4)

①	B
②	A
③	B
④	A

- ① 首輪をつけた猫が庭に入ってくる。
- ② 飛行機のチケットを予約する。
- ③ 新たに弥生時代やよいの遺跡が見つかった。
- ④ 楽しい映画でも見に行きたい。